

## 授業方法について独自に工夫していること 【自然科学系】

実習を通して学習できるよう、ソフトを利用したりシステムの設定を実際に講義中に行うようにした

物理の専門の授業はむずかしく思われるので、できるだけ具体的に演習をまじえて授業を行っている。

補助プリント配付、成績基準の公開、過去の試験問題の配付と解答の解説、全員に採点、成績付の答案の返却(続く有機化学Bの授業で解答の解説予定)

授業中に出席の確認を兼ねて、1回は質問を投げかけるように努めている。

抽象的な話が多いため、新しい概念導入後は必ず多くの実例で説明をし補足している。また、かなり多くの演習問題を与え、概念定着を図らせることを心掛けている。

抽象的な話が多いため、新しい概念導入後は必ず実例を出し、また演習問題を多く解かせて身に付くようにしている。  
また、配布するプリントは、整理しやすいよう作成している。

丁寧な解説と読みやすいプリントづくりを心掛けている。

授業進行に必要な資料(簡潔かつ十分な説明を含む)を準備印刷して配布する。  
受講生による計算・作業等や他受講生とのディスカッション等の時間を持つ。

受講生の既修レベルに注意して講義内容を修正しながら授業を行う事。

普段の生活のインターネット利用において知らぬ間にお世話になっている技術について触れ、ネットワークの授業内容を身近に考えてもらおうと、務めている。

教材や資料を授業開始までにクラウド上で配信することにより、授業前・授業中における効率的な利用を促している。

協同学習をほぼすべてにわたって取り入れたこと。  
児童・生徒の立場で授業を受けて、最後に教師との視点で話し合ったこと。

高校化学との関連性を示して、それとは異なる新しい視点を解説した。また、レポートの考察のポイントを示した。

特別なことは行っていないが、学生の理解度を意識した授業を心掛けている。

- ・すべての授業においてワークシートを作成・配布している。
- ・すべての回ではないが多くの回で学生に課題を与え、提出させている。解答例も示している。

机間巡視によって学生の理解度を確認  
分からない箇所は学生に説明してもらう  
毎回演習プリントを宿題として配布  
学生が黒板で解説  
講義の前に自分で教科書を読み、例題を見ることで演習にチャレンジ